

授業計画

No.1

授業科目	JavaScript基礎演習		担当教員	末原昭彦	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	JavaScriptフレームワークであるReact(TypeScript)について扱う。基本的な扱い方について学んだ後、シングルページアプリケーション構築を行う。知識、基礎をインプットし、演習問題にてアウトプットを行い、技術の定着を図る。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他	20 %
教科書	モダンJavaScriptの基本から始める React実践の教科書			副教材および参考文献	なし		

	講義計画	実施細目
第1回	科目ガイダンス	科目ガイダンス、環境構築
第2回	React基本①	コンポーネント分割、イベント、スタイル、Props値渡し
第3回	Reac基本②	Reactの状態管理(useState), 再レンダリングと副作用(useEffect)
第4回	校外学習	CEATEC 2023
第5回	React基本③	ReactでのCSS適用、簡易プログラム作成
第6回	React再レンダリング仕組み	Reactの再レンダリングの仕組みと最適化
第7回	ReactグローバルなState管理	ReactのグローバルなState管理
第8回	ReactとTypeScript	ReactのTypeScript適用、TypeScript構文
第9回	React(TypeScript)カスタムフック	React(TypeScript) カスタムフックの作成
第10回	React(TypeScript)実施演習①	React(TypeScript) メモアプリ作成 コンポーネント
第11回	React(TypeScript)実施演習②	React(TypeScript) メモアプリ作成 画面
第12回	React(TypeScript)制作演習①	React(TypeScript) 制作アプリ作成 仕様検討
第13回	React(TypeScript)制作演習②	React(TypeScript) 制作アプリ作成 プログラミング
第14回	React(TypeScript)制作演習③	React(TypeScript) 制作アプリ作成 動作確認・共有
第15回	総復習	総復習、授業内容の振り返り
第16回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	Java基礎演習		担当教員	長崎 晃哉	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	3 コマ／週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	本講義は基本情報技術者試験の出題分野であり、かつシステム開発でも需要の高いJava言語の書き方についての講義、演習を行う。 原則2コマの授業を1セットとし、新しい文法に関する講義を1コマ、演習を1コマとして授業を行う						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	%	課題	0 %	他	%
教科書	新・明解Java入門			副教材および参考文献	paizaラーニング		

	講義計画	実施細目
第1回	ガイダンス	授業のガイダンス、環境準備、Javaプログラミングの実行
第2回	Javaプログラミングとは①	文字列の表示
第3回	Javaプログラミングとは②	変数の利用、演算子による計算、データの型
第4回	Javaプログラミングとは③	変数、演算子、データ型の演習
第5回	条件分岐①	if文、else if文、比較演算子
第6回	条件分岐②	if文、else if文、比較演算子の演習
第7回	複数の条件分岐①	AND演算子、OR演算子、switch文
第8回	複数の条件分岐②	AND演算子、OR演算子、switch文の演習
第9回	while文による繰り返し①	while文、do文との違い、while文の活用例
第10回	while文による繰り返し②	while文、do文との違い、while文の活用例の演習
第11回	for文による繰り返し①	for文、for文のネスト
第12回	for文による繰り返し②	for文、for文のネストの演習
第13回	総合演習①	繰り返し文に関する演習問題
第14回	基本型と演算①	基本型、演算と型
第15回	基本型と演算②	基本型、演算と型に関する演習問題
第16回	配列①	配列の定義、初期化、for文による配列の利用

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	配列②	配列の定義、初期化、for文による配列の利用の演習
第18回	多次元配列①	多次元配列の定義、初期化、利用
第19回	多次元配列②	多次元配列の定義、初期化、利用の演習
第20回	メソッドについて①	メソッドの定義、利用
第21回	メソッドについて②	メソッドの定義、利用の演習
第22回	総合演習②	配列、メソッドに関する演習問題
第23回	オブジェクト指向とは①	クラスの定義、呼出し、メンバ変数
第24回	オブジェクト指向とは②	クラスの定義、呼出し、メンバ変数の演習
第25回	オブジェクト指向とは③	メンバ関数、コンストラクタ
第26回	オブジェクト指向とは④	メンバ関数、コンストラクタの演習
第27回	アクセスレベルの指定①	アクセス修飾子、getter、setter
第28回	アクセスレベルの指定②	アクセス修飾子、getter、setterの演習
第29回	総合演習③	オブジェクト指向に関する演習問題
第30回	静的メンバ①	静的メンバ変数、メンバ関数
第31回	静的メンバ②	静的メンバ変数、メンバ関数の演習
第32回	継承①	派生と継承、派生とコンストラクタ
第33回	継承②	派生と継承、派生とコンストラクタの演習
第34回	継承③	多相性、継承とアクセス性
第35回	継承④	多相性、継承とアクセス性の演習
第36回	インターフェース①	インターフェースの定義、インターフェースの実装
第37回	インターフェース②	インターフェースの定義、インターフェースの実装の演習
第38回	総合演習④	継承・インターフェースに関する演習問題
第39回	例外処理①	例外とは、try文、例外の伝搬
第40回	例外処理②	例外クラスの作成、例外の再送出
第41回	例外処理③	例外に関する演習問題
第42回	ジェネリクス - リスト①	Listインターフェース、Listの使い方
第43回	ジェネリクス - リスト②	リストに関する演習問題
第44回	模擬テスト	期末テストの模擬試験の実施
第45回	ジェネリクス - マップ①	Mapインターフェース、Mapの使い方
第46回	ジェネリクス - マップ②	マップに関する演習問題
第47回	総合演習⑤	ジェネリクスに関する演習問題
第48回	期末テスト	期末テストの実施

授業計画

No.1

授業科目	C言語開発演習Ⅰ		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目はサーティファイC言語検定の学習分野として位置づけ、 ① 関数とスコープ ② 1次元配列、2次元配列 ③ ポインタ ④ 構造体、共用体 ⑤ 標準関数 ⑥ プリプロセッサとコンパイル について、実機での動作を通して習熟し、独立でのコーディング及びデバッグが出来る ことを目標として学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	・プリント			副教材および参考文献	・「入門 ANSI-C」：実教出版		

	講義計画	実施細目
第1回	・前期：復習	前期に学習した単元の主な項目を復習する
第2回	・第6章 配列(1)	一次元配列、文字コード
第3回	配列(2)	二次元配列、練習問題
第4回	配列(3)	配列とアドレス
第5回	・第6章末問題	問題6. 1～6. 3
第6回	・第7章 ポインタ	ポインタの基礎
第7回	ポインタ変数の利用(1)	ポインタ変数の利点
第8回	ポインタ変数の利用(2)	ポインタ変数と配列
第9回	・第7章 構造体	構造体とは
第10回	構造体(1)	構造体と参照／代入
第11回	構造体(2)	構造体と配列
第12回	構造体(3)	構造体の関数間での受け渡し
第13回	・第10章：標準関数	関数の概要と実例
第14回	・第10章末問題(1)	問題10. 1～10. 2
第15回	・第10章末問題(2)	問題10. 3
第16回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	検定対策講座		担当教員	小野 健裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	1月下旬から2月上旬ごろにIPA基本情報技術者試験合格を目指すために、過去問の演習と解説を行う。 授業の初めに基本情報技術者試験、応用技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験の科目Aの問題を使って基礎知識の小テストを行い成績に加える。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	0 %	他	50 %
教科書	ITワールド			副教材および参考文献	オリジナル		

	講義計画	実施細目
第1回	科目Bセキュリティ分野対策①	過去問演習 H21年春秋 午後セキュリティ分野
第2回	科目Bセキュリティ分野対策②	過去問演習 H22年春秋 午後セキュリティ分野
第3回	科目Bセキュリティ分野対策③	過去問演習 H23年春秋 午後セキュリティ分野
第4回	科目Bセキュリティ分野対策④	過去問演習 H24年春秋 午後セキュリティ分野
第5回	科目Bセキュリティ分野対策⑤	過去問演習 H25年春秋 午後セキュリティ分野
第6回	科目Bセキュリティ分野対策⑥	過去問演習 H26年春秋 午後セキュリティ分野
第7回	科目Bセキュリティ分野対策⑦	過去問演習 H27年春秋 午後セキュリティ分野
第8回	科目Bセキュリティ分野対策⑧	過去問演習 H28年春秋 午後セキュリティ分野
第9回	科目Bセキュリティ分野対策⑨	過去問演習 H29年春秋 午後セキュリティ分野
第10回	科目Bセキュリティ分野対策⑩	過去問演習 H30年春秋 午後セキュリティ分野
第11回	科目Bセキュリティ分野対策⑪	過去問演習 H31年春 R1年秋 午後セキュリティ分野
第12回	科目Bセキュリティ分野対策⑫	過去問演習 サンプル問題、予想問題 科目Bセキュリティ分野
第13回	科目A免除対策	過去問演習 科目A免除試験
第14回	科目Bセキュリティ分野対策⑬	情報セキュリティマネジメント過去問演習 H31春 午後
第15回	科目Bセキュリティ分野対策⑭	情報セキュリティマネジメント過去問演習 R1秋 午後
第16回	期末試験	科目A問題と午後セキュリティ分野

授業計画

No.1

授業科目	情報総合Ⅰ		担当教員	宇部 武士路	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この授業では、高度専門士として備えるべき論理的思考力や主体的に考える力を身に着けるため、毎回特定の題材についての講義を、それに対するレポート作成を行う。講義で扱う題材としては、IT技術に関連するものをメインとして扱い、他授業への良いフィードバックがあることを期待している。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献	補助教材		

	講義計画	実施細目
第1回	ソフトウェア① -通信の基礎	ネットワーク、OSIレイヤモデル、インターネット
第2回	ソフトウェア② -インターネット	DNS、経路、WWW
第3回	ソフトウェア③ -ユーザインターフェース	UI、入出力装置、CUIとGUI
第4回	ソフトウェア④ -デジタルデータ	文字コード、情報のデジタル化、色・画像・音のデジタル化
第5回	問題解決① -問題とは	問題の種類、社会で求められる力
第6回	問題解決② -問題を見つける	問題解決のプロセス、現状を知る、見つける
第7回	問題解決③ -目標を設定する	目標を設定する、制約条件、解決策を考える
第8回	問題解決④ -情報を収集して整理する	情報を作る、外部情報を集める、検索する、整理する
第9回	アルゴリズム① -条件分岐	if文、switch文、goto文
第10回	アルゴリズム② -ループ	forループ、while文、モンテカルロ法
第11回	アルゴリズム③ -関数	関数の引数、戻り値、値渡し、参照渡し、再起関数
第12回	アルゴリズム④ -配列	配列の仕組み、多次元配列、文字列、データの挿入、削除
第13回	初歩からの数学① -数の概念	自然数、等式の性質、整数、指数、不等号
第14回	初歩からの数学② -式と計算	数の演算法則、式の展開、因数分解
第15回	初歩からの数学③ -有理数	有理数、有理数の演算、有理数の大小、数直線
第16回	初歩からの数学④ -実数	無理数の照明、n乗根、対数

授業計画

No.1

授業科目	アルゴリズム		担当教員	長崎 晃哉	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ／週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	前期で学習した基本的なアルゴリズム、擬似言語の基本文法について復習しつつ、さらに応用的な問題に取り組んでいく。問題演習ではトレースを中心に行い、問題に取り組んだ後に解答・解説を重点的に行う形式で進める。							
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。						
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %	
教科書	科目B試験対策問題集				副教材および参考文献			

	講義計画	実施細目
第1回	擬似言語の基本文法①	変数と演算、分岐処理
第2回	擬似言語の基本文法②	繰り返し処理
第3回	一次元配列処理①	一次元配列の操作の手順解説・問題演習
第4回	一次元配列処理②	一次元配列の操作の問題演習・解説(難易度: 易～中)
第5回	一次元配列処理③	一次元配列の操作の問題演習・解説(難易度: 中～難)
第6回	二次元配列処理①	二次元配列の操作の手順解説・問題演習
第7回	二次元配列処理②	一次元配列の操作の問題演習・解説
第8回	最大値・探索①	最大値決定・探索アルゴリズムの手順解説・問題演習
第9回	最大値・探索②	最大値決定・探索アルゴリズムの問題演習・解説
第10回	整列①	整列アルゴリズムの手順解説・問題演習
第11回	整列②	整列アルゴリズムの問題演習・解説
第12回	文字列操作①	文字列操作アルゴリズムの手順解説・問題演習
第13回	文字列操作②	文字列操作アルゴリズムの問題演習・解説
第14回	データ構造①	リスト操作の問題演習・解説
第15回	データ構造②	スタック・キュー操作の問題演習・解説
第16回	データ構造③	ハッシュ操作の問題演習・解説

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	データ構造④	ツリー構造の問題演習・解説
第18回	オブジェクト指向・再帰処理	オブジェクト指向・再帰処理の問題演習・解説
第19回	応用問題①	実社会の問題を題材にした問題の問題演習・解説(易しめ)
第20回	応用問題②	実社会の問題を題材にした問題の問題演習・解説(中程度)
第21回	応用問題③	実社会の問題を題材にした問題の問題演習・解説(難しめ)
第22回	模擬試験問題演習①	模擬試験 - 技術評論社 第01回
第23回	模擬試験問題演習②	模擬試験 - 技術評論社 第02回
第24回	模擬試験問題演習③	模擬試験 - 技術評論社 第03回
第25回	模擬試験問題演習④	模擬試験 - 技術評論社 第04回
第26回	模擬試験問題演習⑤	模擬試験 - インプレス 第01回
第27回	模擬試験問題演習⑥	模擬試験 - インプレス 第02回
第28回	模擬試験問題演習⑦	模擬試験 - インプレス 第03回
第29回	模擬試験問題演習⑧	模擬試験 - ウィネット 第01回
第30回	模擬試験問題演習⑨	模擬試験 - ウィネット 第02回
第31回	模擬試験問題演習⑩	模擬試験 - ウィネット 第03回
第32回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	システム設計 I		担当教員	末原昭彦	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	システム開発の設計に関するエンジニアにおいて知っておくべき基礎的事項について学ぶ。全体概要や各種設計のつながりからシステム開発の全体を把握する。後半は具体的なシステムの基本設計を実際にを行い、最終的にドキュメントの完成を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献	なし		

	講義計画	実施細目
第1回	科目ガイダンス	科目ガイダンス、システム設計概要
第2回	要件定義	上流工程、要件定義の概略
第3回	機能要件	機能要件とは、機能要件でおこなうシステム設計
第4回	校外学習	CEATEC 2023
第5回	非機能要件	非機能要件とは、非機能要件でおこなうシステム設計
第6回	環境/システム構成	環境・システム構成でおこなうシステム設計
第7回	モデリング: ユースケース分析	コンテキスト図 ユースケース図 作成
第8回	モデリング: 運用フロー分析	状態遷移図 アクティビティ図 作成
第9回	モデリング: ドメインモデル図	ドメインモデル図、オブジェクト図 作成
第10回	基本設計: UI/UX	画面遷移図
第11回	基本設計: 機能設計	機能一覧作成
第12回	基本設計: データ設計	ER図、データフロー図の作成
第13回	詳細設計: シーケンス図	シーケンス図の作成
第14回	詳細設計: ロバネスト分析	ロバネスト分析の作成
第15回	詳細設計: クラス図作成	クラス図の作成
第16回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	情報セキュリティI		担当教員	佐久間 洋	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目では、情報セキュリティの概要ならびに、脅威と対策について、より専門的に学習する。具体的には、パケットキャプチャ等のツールや、実際のWebサイトを使用して、攻撃側・対策側の立場を経験することによって、セキュリティの具体的な施策と重要性について学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他	20 %
教科書	なるほど！情報セキュリティ			副教材および参考文献	図解まるわかり セキュリティのしくみ		

	講義計画	実施細目
第1回	ガイダンス	授業の進め方、評価等
第2回	情報セキュリティ概論	情報セキュリティの定義・管理対象
第3回	マルウェア	マルウェアの種類と特徴
第4回	校外学習	CEATEC 2023
第5回	フィッシング	フィッシング関連の攻撃技術
第6回	標的型攻撃	標的型攻撃の概要、APT
第7回	Webサイトへの攻撃	Webサイトの改ざん、サービスに対する攻撃
第8回	Webサイト利用者への攻撃	攻撃の概要、具体的な攻撃の手口
第9回	暗号方式	暗号化の概要、共通鍵／公開鍵／ハイブリッド暗号方式
第10回	利用者認証・メッセージ認証	利用者認証／メッセージ認証の概要、パスワードクラック
第11回	デジタル署名	デジタル署名、デジタル証明書
第12回	ファイアウォール	ファイアウォール
第13回	無線LANセキュリティ	無線LANの概要、無線LANセキュリティ
第14回	携帯端末セキュリティ	携帯情報端末／ノートPCのセキュリティ
第15回	セキュリティ関連法規	セキュリティ関連の法律、セキュリティ関連のガイドライン等
第16回	期末試験	期末テストを実施

授業計画

No.1

授業科目	表計算演習		担当教員	小野 健裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	表計算ソフトの基本操作を身に着けることを目的とした授業を行う。多数の業務で使用されるExcelの使い方をマスターし、SE／PG職に対応できるように学習を進めていく。また、実業務を想定した演習問題を用意し、様々な問題に挑戦することで実力を養い、スキルを習得させる。加えて、SE／PG職で経験した仕事で使えるエクセルの技術なども伝達していく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	20 %	他	0 %
教科書	3級問題集(2021対応)			副教材および参考文献	オリジナル資料		

	講義計画	実施細目
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション、資格について、セルの書式
第2回	基本関数、列幅	SUM、AVERAGE、MIN、MAX関数
第3回	テーブルとヘッダ・フッタ	表からテーブルへの変換、ヘッダとフッタの挿入
第4回	グラフと印刷設定	基本的なグラフ要素の確認と印刷設定について
第5回	練習問題1	練習1(操作、関数、グラフ作成、印刷設定)の解説と確認
第6回	練習問題2	練習2(オブジェクト、構成比)の解説と確認
第7回	練習問題3	練習3(COUNT、RANK.EQ関数)の解説と確認
第8回	演習問題1	模擬1(EXEファイル、フィルター)の採点、解説と確認
第9回	演習問題2	模擬2(ソート)の採点、解説と確認
第10回	演習問題3	模擬3(割合)の採点、解説と確認
第11回	演習問題4	模擬4(IF)の採点、解説と確認
第12回	演習問題5	模擬5(行列入替)の採点、解説と確認
第13回	演習問題6	模擬6(塗潰レーダー)の採点、解説と確認
第14回	Excelを活かす1	ここまで学んだ知識を活かして資料の作成を行う。
第15回	Excelを活かす2	関数を利用した文書を作成する。
第16回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	データベース基礎		担当教員	大石有里	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	前期で学習したデータベースをさらに深く理解するための演習を実施する。まずは前期の復習で理解度の定着を図り、その後により複雑なデータベースのDML操作について学ぶ。また、前期ではCREATE文以外は扱わなかったDDLなどについても学習していく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	データベースとSQL			副教材および参考文献	なし		

	講義計画	実施細目
第1回	ガイダンス、復習①	授業の進め方の説明、SELECT文、WHERE句
第2回	復習②	整列、集合関数(SUM、AVG、COUNT)
第3回	復習③	INSERT、DELETE、UPDATE
第4回	演習問題①	第01回～第03回までの内容に関する演習問題
第5回	復習④	複数テーブルの結合
第6回	復習⑤	副問合せ
第7回	演習問題②	第05回～第06回までの内容に関する演習問題
第8回	ビュー	ビューの生成、削除、ビューに対する操作
第9回	トランザクション処理	トランザクションとは、ロック、コミット、ロールバック
第10回	データ定義言語DDL①	CREATE、ALTER、DROP、TRUNCATE
第11回	演習問題③	これまでの内容に関する演習問題
第12回	データベース設計①	データ項目の抽出、グループ化
第13回	データベース設計②	第一正規化、第二正規化
第14回	データベース設計③	第三正規化
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施

授業計画

No.1

授業科目	スポーツ実習		担当教員	生沼 秀樹	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ／週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、スポーツを通じ、体を動かすことで爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足も図り、更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を目的とする。また、様々なスポーツを経験することで新しい気付きや、楽しさを発見する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献	なし		

	講義計画		実施細目	
	A種目	B種目	A種目	B種目
第1回(/)	バレーボール①	バスケットボール①	トス練習 → 紅白戦	バス練習 → 紅白戦
第2回(/)	バレーボール②	バスケットボール②	トスリレー → 紅白戦	パスリレー → 紅白戦
第3回(/)	バレーボール③	バスケットボール③	レシーブ練習 → 紅白戦	ドリブル練習 → 紅白戦
第4回(/)	バレーボール④	バスケットボール④	レシーブリレー → 紅白戦	ドリブルリレー → 紅白戦
第5回(/)	バレーボール⑤	バスケットボール⑤	サーブ練習 → 紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第6回(/)	バレーボール⑥	バスケットボール⑥	サーブ陣取り合戦 → 紅白戦	シュート対決 → 紅白戦
第7回(/)	バレーボール⑦	バスケットボール⑦	紅白戦	紅白戦
第8回(/)	バレーボール⑧	バスケットボール⑧	紅白戦	紅白戦
第9回(/)	バレーボール⑨	バスケットボール⑨	紅白戦	紅白戦
第10回(/)	バレーボール⑩	バスケットボール⑩	紅白戦	紅白戦
第11回(/)	バレーボール⑪	バスケットボール⑪	紅白戦	紅白戦
第12回(/)	バレーボール⑫	フットサル①	紅白戦	バス・ドリブル練習 → 紅白戦
第13回(/)	バレーボール⑬	フットサル②	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第14回(/)	バレーボール⑭	フットサル③	紅白戦	バス・ドリブル練習 → 紅白戦
第15回(/)	バレーボール⑮	フットサル④	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第16回(/)	バレーボール⑯	フットサル⑤	紅白戦	紅白戦